



しょう がっ こう 笑・楽・幸 通信

「いい顔」「いい声」「いい心」

No.19

【発行日】令和5年11月14日

【発行者】校長 金井 哲也

今回は、小中一貫教育の取り組みを2つ紹介したいと思います。

あいさつ運動

11月8日（水）から10日（金）の3日間に渡り、白根巨摩中の生徒の皆さんと、白根東小の6年生による「小中一貫あいさつ運動」を行いました。本校を卒業した白根巨摩中の生徒会本部役員と学年生徒会の皆さんが、3日に分かれて中学校へ登校する前に本校へ来てくれました。本校の6年生も集団登校後に合流し、登校してくる子どもたちと一緒に挨拶をしました。

登校して来た子どもたちの中には、いつもと違った光景に驚いた子もいたようですが、普段より元気に挨拶する子が多かったように思います。これをきっかけに、あいさつの輪がもっと広がってくれることを期待しています。



合唱交流会

11月10日（金）に、白根巨摩中体育館において、白根東小、白根飯野小、白根巨摩中の3校合同による合唱交流会が行われました。これは、「小学生と中学生が互いの合唱を聴き合うことで、豊かな創造力を育成する」とことと、「合唱のすばらしさを味わい、今後の合唱活動のレベルをあげる」ことを目的としています。雨が少し降って歩いて行くのが大変でしたが、頑張って行ってきました。

まず、小学生合同の発表として、白根東小と白根飯野小の6年生と一緒に「ピリリーブ」の合唱を発表しました。初めて合わせた合唱でしたが、とても上手に歌えていました。

次に、中学生が学年ごとに合唱を発表してくれました。1年生はインフルエンザのため不参加だったため、2年生は「親知らず子知らず」、3年生は「僕が守る」という曲を聞かせてくれました。どちらの学年も、中学生らしい迫力のある素晴らしいハーモニーでした。

最後に、小中合同で「翼をください」を合唱しました。合唱することの楽しさと、中学生の合唱のすばらしさを体験できた交流会でした。

